

うど 浩一郎

日本共産党



国政私物化の安倍政治NO!
市民の声で動く市政を!

コロナ危機 小倉南区に保健所の復活を!
お困りごとにはご相談を

プロフィール

1973年9月生まれ、横代小、横代中、真魂館高等学校(旧・九州工業高校)卒業、横代北町4丁目在住
1991年 食品会社勤務(東京)
1999年 パン職人めざし修業
2010年 パン工房「あるか」開業~2018年8月まで営業
家族/妻、三女
趣味/釣り、ツーリング

活動地域 日田彦山線より東側(隠妻まで)の10号線方面

福岡民報

事務所 小倉南区下貫1-14-14
TEL 474-3630

■2020年8月・9月号外 日本共産党福岡県委員会の見解と政策を発表しました。
■発行/福岡民報社 1964年12月9日第3種郵便物認可
〒810-0022福岡市中央区薬院3-13-12大場ビル3階

困っている市民に
安心できる市政に

コロナの危機で少くない人が減収となり、行き場を失っている姿を見ると、私自身がパン屋の時代に、2014年の消費税増税に苦しめられたことを思い出します。今回の危機はそれをはるかに上回ります。

日本では何でも「自己責任」の世界。北九州市は保健所を7つから1つに削ってしまった、パンク状態に。コロナ危機が示したのは、ケアに使う費用はムダではなかったということでした。

私は、市民が困っているときに、きちんとケアされる安心して暮らせる市政をつくるために全力を尽くします。

市政アンケートにご協力ください
スマートフォンから簡単にできます



うど浩一郎は! ガンバります!

市民の立場で きびしくチェック

自民・公明中心の市政は、消費税増税は賛成、社会保障の削減は「必要」と述べるなど、安倍政権言いなりです。

また3500億円の下関北九州道路を推進し、A I Mビルやひびきコンテナターミナルの赤字の穴埋めなどには毎年10億円以上もつぎ込むなど、巨大開発推進の市政です。一方で市立病院や保健所を削減し、保育所や学校給食は民間に委託する、介護保険料を引き上げるなど、いのちと暮らしを犠牲にしてきました。

下北道路はやめ、コロナ対策に予算をつかう市政に変えましょう。

私たちががんばります



田村貴昭衆議院議員 高瀬菜穂子福岡県会議員



小倉南区に2議席が必要(左は藤沢かよ議員)

とりくませてください

- コロナ危機対策
 - ◇PCR検査の抜本的強化
 - ◇医療提供体制の抜本的強化
 - ◇南区に保健所の復活
 - ◇暮らしと営業の補償
 - ◇命と学びを保障する少人数学級
- 高年齢者福祉乗車券の実現
- 子ども医療費を高校卒業まで完全無料に
- 返済免除の奨学金の実現
- 賃上げと家計応援で人口減ストップ!
- 消費税を5%に引き下げを

日本共産党の躍進で 市民と野党の 共闘前進へ

日本共産党と各野党が力を合わせて安倍政権の悪政と対決し、国民の声が届く政治実現にがんばっています。

北九州でも「共闘勝利と日本共産党躍進」を目標に頑張ります。

日本共産党が躍進すれば、地方からも「市民と野党の共闘」の流れを開くことができます。

コロナ禍でも 橋づくりが 3500億円の下北道路



3ルート案の整備費示す
下北道路 専門家が評価会議

“火事場泥棒”のような 市政でいいのでしょうか

コロナ危機は、日本社会のもろさを浮き彫りにしました。「検査が受けられない」という悲鳴が上がり、医療現場や保健所がひっ迫しました。保健所も、病院も、医師も減らし続けた医療費抑制政策によるものです。北九州市も5つの市立病院を

廃止・縮小し、保健所は7カ所を1カ所に、職員は約300人から100人に減らした結果です。小倉南区にも地域の保健行政の中心となる保健所を復活させましょう。うど浩一郎は全力をあげます。

コロナ感染拡大が新たに広がり、市民の不安が増大しています。今こそ、感染拡大防止のために抜本的な財政措置が必要です。そんなときに、「安倍麻生道路」と揶揄される下関北九州道路の3ルート案が示されました。3500億円に膨らむ計画です。火事場泥棒のようなやり方に怒りの審判を下しましょう。「下北道路よりコロナ対策を！」の声を日本共産党に託してください。

少年時代

野球・サッカー・陸上… 俊足のスポーツ少年

うど浩一郎さんは、1973年、電気設備関係の会社に勤める父と、化粧品会社に勤める母の間に生まれました。子煩悩の両親の間ですくすくと育ちました。小学校に入ると、「スポーツ少年」に。走ればいつも1〜2番、好きな科目は体育。地域の野球部「横代ライオンズ」に所属し、毎日練習に明け暮れました(写真)。



自分探しの部活、「苦しい中でこそ成長」と頑張る
中学校では野球部がなかったため、陸上部に入り、しばらくしてサッカー部に転入しました。しかしその後、野球部ができる話を聞き、「横代ライオンズ」仲間らと相談して初代部員となりました。部活はきびしく、ポジション争いでレギュラーを外されたこともありますが、「苦しい中でこそ成長」と頑張りました。

みんなで話し合い、上級生の絶対支配変える
高校ではサッカー部に所属。上関係がきびしく、上級生から殴られる「バシリ」をさせられる、ユニフォームを持ち帰って洗わされるなど日常茶飯事。下級生の出したパスが上級生に当り、「おまえらみな坊主にせえ」と、その場から下級生全員が床屋に行つて坊主にさせられたこともあります。うどさんが3年生になった時、みんなで「こんなやり方はおかしい」と話し合い、それからはみんなが自由にモノが言える部活になりました。

期待しています



40年隣同士、何事も一生懸命挑戦する人 加来勝巳 芦田町内会長

40年隣同士で、浩一郎君は小さいころから良く知っています。学校を出てから苦勞したと思いますが、何事にも一生懸命に挑戦する人です。この人なら努力してやってくれると思います。私も地域のことをやっているので、彼がより広い地域のために頑張ってくれるのは、心強いです。



市議会を傍聴



西鉄へのバス停ベンチ設置申し入れ

日本共産党 市議団の実績

(抜粋)

- 学校大規模改修
小学校10校、中学校4校、総工事費50億円
- 小中学校へのエアコン設置
普通教室178校、特別教室57校、総工事費61億円
- 子どもの医療費助成を
中学校3年まで実現
- 平和資料館を実現
来年度オープン予定
- 特別支援教育介助員
スクールカウンセラー
等の増員
- 若戸大橋・トンネルの
無料化

うど

浩一郎

コロナ危機から命と暮らしを守るために全力

より、保健所の復活を!



支援制度の中身を説明するうどさん(左)

南区にも保健所の復活を

提案します

- PCR検査を防疫の観点から抜本的に増やし、感染拡大防止体制を強化します。
- 補償とセットの休業要請を子どもたちの学びを保障する20人学級へ、教員の大幅増員を

コロナ危機にともなう自粛や休業で、売上げが落ちた自営業者のみなさんの苦境を解決するために、訪問と支援を行ってきたうどさん。「売り上げが半減した」「あと一ヵ月持つかどうか」などの切実な声を聞いてきました。



奮戦記

タクシーにも使える高年齢者福祉乗車券

うどさんは、日本共産党が公約した高年齢者福祉乗車券実現に力を尽くしています。「高台なので大変」「娘に買い物頼むけど、気を遣う」など高齢者から切実な声が寄せられ、歓迎されています。



高年齢者福祉乗車券の署名をお願いするうどさん

議会傍聴・要求実現

市議会には可能な限り傍聴、地域の様々な要求もいち早く届けています。

社会に出て

どの仕事も第一線で奮闘 政治にも目覚める

うど浩一郎さんは、得意な料理の腕を生かせるパン屋をめざしながら、様々な仕事を体験しました。

スーパー物産部「揚げ方を他の店舗にも教えて」

最初の仕事となった大手スーパー物産部では、天ぷら揚げを担当し、「お前の揚げ方を他の店舗にも教えに行つてやつてくれ」と言われるほど、上達しました。

ひたすら包丁研ぐ日々 経て、魚のさばき覚える

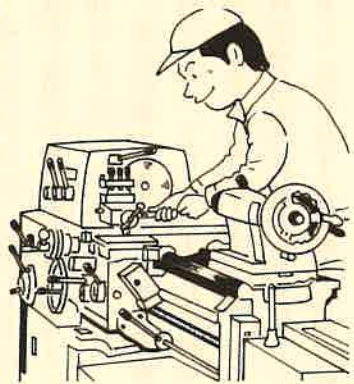
有名料理店で板前の仕事は、「怒られてなんぼ」の世界。来る日も来る日も包丁を研ぎました。そのうち魚のさばきも任されるようになりました。

訪問介護で 入浴、食事づくり、 病院付き添い…

訪問介護では、相手の自宅でお風呂に入れたり、食事をつくったり、透析に連れていくなど、介護職の大変さを身をもって学びました。

CADの仕事は長時間 大企業生産ライン設計も

CAD(設計・デザイン士)の仕事は、長時間労働でした。大企業が生産ラインの設計も行い、夜中の1時過ぎの帰宅も珍しくありませんでした。「何事も全力で」がモットー。どこでも納得するまで頑張りました。



「国民の味方」 日本共産党を実感。 政治に目覚める

帰郷してバイトをしているときに、すすめられて日本民主青年同盟に加盟、共産党の選挙を手伝うようになりました。共産党候補の訴えは、寮費などを差し引くと月8万円できりくりしていた東京でのくらしの実感、自らの思いとピッタリと重なり、日本共産党に入党しました。

苦しい立場の人の気持ちがわかるうどさんを

古谷ひとみ 津田新町

うどさんは、パン屋をされていたから、苦しい立場の人の気持ちを身をもってわかる人だと思います。今の政治は、税金のムダ遣いばかり。

安倍さん(首相)は「責任をとる」と言いますが、本当に弱い立場の人に目を向けている感じがしません。こんな政治を変えてほしいです。



期待しています

パン屋開業

パンづくりの喜びと

営業の大変さを実感



合わせてつくる面白さ、難しさを学びました。また経営者が変わるなど、経営の大変さも目の当たりに。

商売の大変さ——消費税増税が最大の難関に

しかし小さなパン屋の売上げには波があり、自ら経営する大変さを日々実感しました。売上げが上がらないときは、様々な結びつきを頼って外に売りに回りました。

待望の開業——練乳入り玄米パンが売れ筋に

2010年、待望の開業にこぎつけたパン屋「あるか」(北方)。夫で懸命に運営しました。生地に練乳を練りこんだ玄米パンは、玄米の量も多く、売れ筋に。クルミパン、アンパン、食パンなども評判でした。

所帯を持ち子育てに明け暮れ、パン屋の夢が薄れかけたうどさん。しかし1999年、「子どもに喜ばれるからやりがいあるよ」との妻の一言が、強い後押しとなりました。

朝3時起き、パン作りの面白さと難しさ学ば

修業時代は、早朝3時起きでパン作りにとりくみ、気温や湿度に

政治を変える

まじめに働く人が報われ コロナをのりこえる世の中を

うど浩一郎さんが、政治の世界に本格的に踏み込んだのは2018年夏。以来2年余、くらしと生業をめぐる様々な願いや苦しみの声を聞いてきました。

1月1万円で暮らす女性生活保護申請へ

ある87歳の女性は、様々な固定費を差し引くと手元に残るお金は1万円。これで1カ月暮らししていました。

生活保護をすすめると「私が受けるのは申し訳ない」とかたくなに拒みます。ていねいに説明し、やっと納得してもらいました。

うどさんは、区役所に同行し、申請、聞き取りの場にも立ち会い、その後、保護の支給が決定し、ホッとしました。

憲法25条の生存権、憲法を実現する政治を

うどさんは改めて、「生活保護」「恥」という文化が強いと痛感しました。

うどさんは、社会に貢献してきた高齢者が、定年退職後も非正



経営の最大の難関は消費税の増税でした。2014年4月に税率が5%から8%に上がった時には、材料費含め諸経費がすべて値上がりし、毎月数十万円の支払いに窮しました。

こうした経験からもうどさんは、小さな業者ほど大きな影響を受ける消費税は引き下げたいと強く願っています。

規で働いて月1万円しか残らない生活は憲法25条生存権にかかわると考えます。生活保護は当然の権利であり、躊躇するような世の中ではコロナのような危機はのりこえられない、と強く思います。

自らの経験と重なるみなさんの切実な声が力に

訪問先では、「年金が減らされて苦しい」「消費税を何とかして」「コロナで子どもが失業して、暮らしていけない」など、切実な声が次々出されます。

自らの働いた経験や自営業で苦勞した経験と重なり、うどさんは「真面目に暮らす人が報われる世の中を」の決意で、自らを行動に駆り立てています。

まともな政治をつくるためにがんばってほしい

下津和代 石田南町

誠実なうどさんに、ぜひ政治を変える力になってほしい。いまの政治は、「桜を見る会」でも、河井議員の事件でも、お金の使い方が異常です。一

方で消費税が上がると、年金は下がり、私たちは踏んだり蹴ったり。年金とかコロナ対策とかにもっとお金をかけて、まともな政治にしてほしいです。

コロナ禍の教訓生かし、医療・社会保障立て直す政治を

中富真由美 公益財団法人健和会・地域包括部部長

いま、コロナによる感染対策と収益不足で、医療や介護の現場は、ともに大変厳しい状況です。もうけ第一の民営化路線などで、社会保障

や公衆衛生が削減され、切り捨てられてきたことが大きく影響しています。うどさんには、その立て直しのために頑張ってもらいたいと思います。

期待しています



期待しています

